

第6回パラレル脳研究部門 勉強会・セミナー

シナプスの機能や神経回路に着目した うつ病治療への試み

演者: 鈴木 敢三



先進工学部 生命システム工学科 助教

日時: 2022年7月28日(木)16:10~17:40

葛飾キャンパス講義棟502教室

※他キャンパス向けにZoomでライブ配信いたします。Zoom参加ご希望の方は世話人、またはお近くのpBIRD構成員にご連絡ください。

脳は、神経細胞やグリア細胞などの様々な細胞群から構成されている。神経細胞同士は、神経細胞のシナプスという場所で、シナプス結合やその伝達の効率を変化させながら情報伝達を行っている。また、神経細胞は、様々な脳領域内外で神経回路を形成している。そのため、シナプス伝達や神経回路形成の破綻は、うつ病を含む神経疾患の原因となる可能性があり、一方で、その修復が治療に繋がらうる。

本セミナーでは、まず、基礎的な神経科学の知識をまとめつつ、分子神経科学の最新の研究について紹介する。その後、うつ病治療に関する私の研究の一部を紹介すると共に、この分野の課題などについて話したい。さらには、シナプスの機能や神経回路に着目した時に、生物学や工学などの観点から、うつ病を含む精神疾患の治療にどのようにアプローチできるかディスカッションしたい。

本セミナーは学部生、大学院生の聴講も歓迎します

主催: パラレル脳センシング技術研究部門

東京理科大学における脳研究の学際的な連携基盤の構築を目指し2016年度に発足した脳学際研究部門 (BIRD) をより発展させるために2021年度に設立された新しい部門。学内の工・先進工・理工・薬学部・生命研および学外の研究機関から構成される。



世話人: 先進工学部 生命システム工学科 瀬木(西田) 恵里 eri.segi.nishida@rs.tus.ac.jp
本講演は公開セミナーです。聴講希望の方は世話人までメールでご連絡ください。
必要な情報を折り返しお伝えします

